

令和 3 年 第 1 回定例会 一般質問

順序	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1	赤 井 睦 美	<p>1. 学校の思い出を形に！</p> <p>2. 山崎・黒岩地区の子育て支援、コミュニティの拠点は？</p>	<p>2月14日に、山崎小学校の閉校式が行われました。過去の閉校式は、多くの卒業生や地域の皆さんが集まり、思い出を語り合い、懐かしさと寂しさを分かち合う場ともなっていました。今回は感染対策からそうした時間を設けることも出来ず、寂しい閉校式となってしまいました。</p> <p>八雲地域では昭和40年以降、分校も含めると小学校18校、中学校8校が廃校となり、今では小学校6校、中学校3校となってしまいました。地域の学校には、児童生徒はもちろん、地域の方たちの思いもたくさん詰まっています。</p> <p>そこで、新庁舎が出来、資料館も移転するので、今まで閉校した学校の思い出を展示する「学校の思い出コーナー」を設置してはどうでしょうか？</p> <p>各学校の校旗や写真、記念文集など、卒業生や地域の方がいつでも見学に来て、学校を懐かしむ場があっても良いと思います。今は統合先の学校に保管されているなど、卒業生や地域の皆さんが気軽に見ることが出来ない環境ですが、最近はデジタル保存も可能となっているため、それほど大きなスペースも必要がないと思います。</p> <p>ただ、資料館には今でも膨大な資料が保管されており、その整理と管理をするだけで、今の人数では手一杯ですから、是非、専門の学芸員を増員し、町民の楽しみを増やしてほしいと思います。町長と教育長の考えをお伺いします。</p> <p>3月18日の卒業式を最後に、山崎小学校は閉校になります。このことにより、山崎・黒岩地区には、保育園も小学校中学校もなくなってしまいます。</p> <p>スクールバス等の運行により、学校への登下校には困りませんが、休日や雨の日の遊び場、子育て中のお母さんたちの情報交換の場、地域の方たちのコミュニティの拠点がなくなってしまう事になります。</p> <p>学校の統廃合によっておこるいろいろな弊害は、この地区だけではなく今までも見られたことだと思いますが、今までの対応と今後、どのような対策が必要なのか、町長の考えをお伺いします。</p>	<p>町 長 教 育 長</p> <p>町 長</p>

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	横田喜世志	1. SDGs（持続可能な開発目標）の推進を	<p>令和元年第4回定例会で赤井議員の一般質問から1年2か月が経ちました。SDGsが掲げる17の目標と169のターゲットを眺めると、社会が直面する問題が浮き彫りになってきます。</p> <p>SDGsに課せられたミッションは「世界を変革する」と国連サミットで採択された成果文書に書かれています。社会改革のスピードとレベルで「住み続けられるまち」「住みたいまち」になっていくと思います。</p> <p>そこで私が特に着目している項目として、「16項目平和と公正をすべての人に、17項目パートナーシップで目標を達成しよう」について、八雲町としてどのような取組みを進めようとしているのか、町長の考えを伺う。</p>	町長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	三澤公雄	1. 職員の女性比率をもっと高めるべきだ。	<p>以前、この議場において岩村町長は「女性の管理職を増やしたい。」と答弁された事もありましたが、課題も同時に挙げられていた。その課題に応える様に、女性職員の採用割合も昨年は30%、一昨年は40%と比較的高率に推移してると思います。しかし、このままのペースでは、たとえ管理職に女性がなったとしても、部下は男性ばかり…結局、今までどおりの無意識の男女格差下の仕事の進め方になるのではないのでしょうか。</p> <p>政府は、昨年5月に2030目標（2020年までに指導的地位の女性比率を少なくとも30%にするという目標）を先送りしてしまいましたが、中央が先送りしたからといって、地方が追従するわけにはいかない！</p> <p>八雲町は目標を明確にし、課題を克服すべきと考えるが町長の考えを伺う。</p>	町長
		2. 言葉の使い方を改め、意識改革をしよう！	<p>男女共同参画の英訳は、Gender equality。そして男女平等の英訳も Gender equality である。つまり、対外的に表現、周知するときは、平等の意味の equality を使うのに、国内向けには、あえて違う表現をするのは別な意味を含んでの取り組みではないのか。男女平等というコトバに違和感を覚える層への配慮・忖度ではないのか。この際八雲町は男女平等の使用に統一して、意識改革を明確にしてはどうか。</p> <p>また、障がい者という表現・表記も「害」の字がためらわれるので、単にひらがな表記にただけだと思う。今月の文化審議会国語分科会において常用漢字として「碍」の字が検討される運びとなった。「碍」は「旅人の行く手を阻む石」という意味で、なおかつ「害」の人を傷つける、損なうの様な意味を持たないので、よりふさわしい漢字だと思うがどうか。町長の考えを伺う。</p>	町長
		3. 町内の再生可能エネルギー活用で電気代の流出を域内循環にできないか？	<p>令和2年の行政執行方針の中にも「持続可能な地域社会に向けて・・・」という言葉がある様に、今の八雲町は“持続可能”をキーワードに“まちづくり”を進めている。これを具体化するにはいくつも方法があるだろうが、以前、この場で田園回帰1%戦略を取り上げ、議論したが、数字を分析するまでもなく、町外に流出する金額の筆頭はエネルギー代だろう。この中で多くを占める電気料について、域内循環を目指す環境は整ってきていると考える。ここは明確に目標を立てて「持続可能なまちづくり」の具体化に進んでいって欲しい。町長の考えを伺う。</p>	町長

		<p>4. 北海道二海サーモン養殖事業の“第3の海”とは？</p>	<p>2月27日にTVhで放送された経済ナビの中で、ひやま漁協との熊石での取組み、落部漁協との東野の取組みを紹介した続きで、町長は「第3の海」という表現で次の展開をおわせた。</p> <p>港の活用方法、他地区への広がりなど町内でもまだ色々と考えられる中で、番組中では他町への展開と私は受け取めた。</p> <p>町長の考えをあらためて伺いたい。</p>	<p>町長</p>
--	--	-----------------------------------	---	-----------

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	佐藤智子	1. 教職員の働き方について	<p>昨年、北海道議会で「1年単位の變形労働時間制」の条例が可決成立し、各市町村教育委員会では導入検討の動きがあるようだが、函館市を含む渡島管内全域では先送りになったと聞いている。2020年の年間労働時間の記録の不備や、導入に向けての準備が整わない、との判断かと考えられる。</p> <p>休日を設定するために、繁忙期の勤務時間を延長させるこの制度は、教職員の働き方の改善にはつながらないのではないかと。</p> <p>八雲町教育委員会としては、「1年単位の變形労働時間制」導入について、どのように考えているか伺う。</p>	教 育 長
		2. 子どもが元気な町、八雲！をスローガンに	<p>①出産後、うつ傾向に陥ったり、育児に不安やストレスを感じる母親は孤立しやすい。家事や育児を手助けする訪問型の子育て支援に取り組むことはできないか。</p> <p>②八雲地域において「子どもの遊び場を増やして」という声がある。月曜祝日が多いため、学校が休みの時に図書館や体育館などは休みのことが多い。出かけられる場所を増やす工夫ができないか。</p> <p>③八雲地域で昔は、子どもたちが自分たちで自由に遊べる空き地があった。公園など整備されたところだけでなく、自転車遊びや野球などができるような空き地を町として考えることはできないか。</p>	町 長
		3. 町営住宅入居者の除排雪援助を！	<p>徳川公園付近の新しくできて数年の町営住宅は、なぜか他と比べると積雪量が多く、雪に埋もれているように見える。入口側はきれいに除雪されているが、裏側はベランダのガラスをふさぐように積もる雪と、屋根から分厚い雪が落ちてくるのでダブルパンチだ。</p> <p>これに加えてFFストーブ排気筒が下側にあるため、雪でふさがれる危険性が高い。一年目に入居された方の中には、雪で埋まった排気筒から排気ガスが逆流したことがあったと聞いている。一酸化炭素中毒が起きてからでは遅い。</p> <p>今年のような雪の多い年には、こまめに様子を見に行ったり入居者に声をかけたりすると共に、80歳以上の独居の方や、身体があまりきかない方などに対して自力で除排雪を求めるには無理があると思うので、何らかの手立てを考えるべきではないか。町長の考えを伺う。</p>	町 長

順序	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
5	宮本雅晴	1. 八雲高等学校に衛生看護科の設置を！	<p>近年、医学の発達は日進月歩目覚ましく、医療技術の高度化が進み、多くの命が救われ、守られてきたところでありますが、看護の分野におきましても人間性豊かで看護に関する幅広い能力を備えた専門的知識が要求される新時代にきております。</p> <p>現在、道内高等学校には、看護師養成のための産業教育施設として、道立稚内高等学校看護専攻科と道立美唄聖華高等学校の2校がございます。以前、当町にも旧国立療養所八雲病院附属准看護学校があり、地元八雲町からも多くの卒業生を輩出し、現在も地域医療の現場で活躍されているのであります。しかし、国の施策により准看護学校が平成13年に50年の歴史をもって閉校となりました。今では全国的に看護師確保が大きな課題であり、当町を初め、近隣町においても看護師確保が大問題です。看護科設置を考えたとき、立地条件において必要な実習施設として八雲総合病院や老人福祉施設、保育施設等があります。</p> <p>近隣の長万部町には東京理科大学もありますので、必要な教授、講師の確保は可能と考えます。今後も当町の医療施設においても、看護師確保が困難な状況にあることから、八雲高等学校に衛生看護科を設置することは必要不可欠であります。町長の考えをお伺いいたします。</p>	町長